陸上自衛隊 第50普通科連隊

新設 高知駐屯地に移駐

定員約700人 関係者1000人超の大移動

多様な事態対処に期待

――3000人出席で盛大に記念式典――

高知駐屯地開設記念式典が3月28日、香南市香我美町の同駐屯地第1営舎地区で開催された。式には、防衛省・自衛隊の高級幹部をはじめ衆参国会議員、地方自治体の長、一般市民ら約3000人が出席した。

午前10時すぎ、50連隊本部、各中隊が順次式典会場のグラウンドに入場、整列した。上空に、空自第5航空団（新田原）のF―4戦闘機2機が飛来、見学者の頭上をともに今回の一層の努力を続けていくことを誓った。次いで、来賓代表として、中谷元・元防衛庁長官、広田一参院議員、尾辻秀久参院議員、関式が開催され、引き続き、観閲官の黒田斗詩志陸上幕僚長が、隊員に対して心温まる訓示を述べた。

来賓紹介に続いて、感謝状贈呈式が行われ、式を終了した。引き続き、体育館に場所を移して祝賀会食が行われ、鈴木義孝第14旅団長や来賓の前で、最初に高知県知事の尾崎正直氏が「地域に密着した部隊と共に、常時即応態勢をとり、災害等をはじめとする各種事態に対処する」と祝辞を述べた。

続いて、高知駐屯地開設に至るまでの関係者の尽力に感謝しながら「地域に溶け込み、電披露宴が行われ、式を終了した。

見学者3000人の前を威風堂々と観閲パレードを繰り広げる車両部隊（3月28日、高知駐屯地で）

陸上自衛隊にとって、25年ぶりの新駐屯地の開設であるとともに、災害への実効的な対応を狙いとして、地震住民の方々に流動的な国内外情勢の中、信頼される強靭な郷土部隊にふさわしい新たな伝統の構築に邁進してもらいたいと思います。

そして、中部方面総監として「行動して心が結果を出す」ことを要求される現在の陸上自衛隊の姿を象徴しています。

最後に、本駐屯地の開設に際し、ご協力を頂きました地域住民の皆様、関係団体等の皆様に対しまして、紙面を借りて深く御礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

火箱芳文 陸上幕僚長

本駐屯地の開設は、防衛する事業の一つと考えています。駐屯部隊の隊員諸君は、駐屯地司令黒田一佐を核心として、地域住民の方々に信頼される部隊となるよう、全力で取り組んで参ります。

北澤俊美 防衛大臣

陸上自衛隊においては、第14旅団の警備区域である四国の地理的特性を踏まえ、普通科連隊を香川県と下で、今後とも我が国の独立と平和、国民生活の安心・安全を確保し得る防衛力を効果的かつ効率的に整備して参る所存ですので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

高知県に分散して配備するも、第14旅団隷下の第50普通科連隊を香川県の善通寺駐屯地から高知県の高知駐屯地に移駐いたしましたことにより、大規模災害等をはじめ各種事態が生起した場合により迅速に対処することができる体制に移行しました。

新たな高知駐屯地の開設にあたり、一言申し上げます。

防衛省・自衛隊としては、厳しさを増す安全保障環境下で、今後とも我が国の独立と平和、国民生活の安心・安全を確保し得る防衛力を効果的かつ効率的に整備して参る所存ですので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

尾﨑正直 高知県知事

高知県は輝く大陽のもと、黒潮打ち寄せる変化に富んだ海岸線をはじめ、四万十川に代表される清流や緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。

また、高知県ならではの食材や料理、幕末維新の英雄を輩出した歴史があります。

隊員の皆様には、厳しい訓練の合間には、是非とも「自然」「食」「歴史・文化」など全国に誇れる高知の魅力を存分に堪能していただきたいと思います。

最後に、隊員の皆様のますますのご健康、ご活躍をご祈念申し上げます。

黒田弘人 第50普通科連隊長

この度3月26日、第五十普通科連隊は、香川県善通寺市から高知県香南市に新設された高知駐屯地への部隊移動を完了し、新たな環境での勤務に就いております。

今後は、教育訓練の成果を着実に積み上げ、各種事態において、訓練を重ねられ、隊員一人一人の能力が常駐していただくことで、国土の防衛警備はもちろん、南海地震をはじめ、災害に対する本県の応急体制が飛躍的に発揮することとなり、大変心強く、頼もしく思っております。

皆様におかれましては、最新の設備を備えた駐屯地において、訓練を重ねられ、隊員一人一人の能力が向上はもちろんのこと組織としてレベルアップされ、部隊としての総合的な力が、国土の防衛や災害への対応に生かされることを期待しております。

高知県は輝く大陽のもと、黒潮打ち寄せる変化に富んだ海岸線をはじめ、四万十川に代表される清流や緑深い山々など、美しく豊かな自然に恵まれています。

また、高知県ならではの食材や料理、幕末維新の英雄を輩出した歴史があります。

隊員の皆様には、厳しい訓練の合間には、是非とも「自然」「食」「歴史・文化」など全国に誇れる高知の魅力を存分に堪能していただきたいと思います。

最後に、隊員の皆様のますますのご健康、ご活躍をご祈念申し上げます。

地元は歓迎ムード一色

市中パレードに一体感

開設記念行事に先立ち、3月24日には高知県主催の50普通連隊を迎える式典があり、部隊甲機動車や施設車両、人員輸送用機動車などによる高知市内でのパレードも行われた。同市東部の高須アグランドを出発した部隊は高知県警のパトカー10両の協力で高知駅前、県庁前から、全国的に有名なはりまや橋などの中心部を通過して一般車両の渋滞もトラブルもなく1時間半の行進を無事終了した。沿道には高知県で初めて見るという本格パレードに大きんの市民が待ちうけていた。高知駅前や路面電車

尾崎知事が黒田連隊長に県旗を授与

りには日の丸を振りながらえしコース全域の撮影ポイントに待機していた。県庁所在地の大都市を車列でパレードすることは最近では珍しいこともあり、高知県民の自衛隊に対する期待度が感じられた。

歓迎ムード一色

高知県に初めての自衛隊連隊の移駐に歓迎ムードは沸きあがっていた。「本物の自衛隊」を見ようと朝からの香南市周辺には車の列ができた。県最西端の宿毛市からはフェリーを仕立てて20人のグループ、ちびっ子3人のグループ、ちびっ子3人のグループ、来賓紹介に続いて、感謝状贈呈式が行われ、式を終了した。引き続き、体育館に場所を移して祝賀会食が行われ、鈴木義孝第14旅団長や来賓の前で、最初に高知県知事の尾崎正直氏が、整々と観閲パレードに、また、ヘリコプター3機編成による航空部隊も上空に飛来、パレードに華を添えた。